

第1学年 国語科学習指導案

児童 1年2組 男12名 女13名
 指導者 千 葉 律 子

育てたい主となる能力(基礎・基本)

・書こうとする題材に必要な事柄を集めること。

(書イ)

1 単元名 よく見てかこう

教材名 しらせたいな, 見せたいな

2 子どもと単元について

(1) 子どもたちは、これまで入門期の「書くこと」の学習として、平仮名の学習に取り組み、文字を覚えて書くという活動に意欲的に取り組んできた。表記の仕方を学び言葉を集めたり、助詞に注意して短い文を書いたりする学習を行った。その上で、「てがみをかこう」では、手紙を出す相手のことを考えながら楽しく書く学習を、「じどう車くらべ」では、自動車図鑑を作るために、調べた事を簡単な説明の文章に書くことを学習してきた。また、特設単元「じゅんじょよくかこう」や「につきをかこう」では、経験した事を順序に気を付けて書くことを学習し、日常の書く活動に生かしている。

これらの学習を通して、子どもたちは、相手や目的を考えて経験したことを書いて伝えたり、集めた情報を書き表したりして、楽しんで書こうとすることができるようになってきている。

(2) 本単元「よく見てかこう」は、身近なものをよく観察して、知らせたい事が相手に分かるように必要な事柄を集めて書くことをねらいとしている。

本教材

「しらせたいな, みせたいな」は、学校生活の中から、家の人に知らせたいものを決め、その題材をそれぞれの視点からよく観察し、文章に書いて伝えることができる教材である。子どもたちは、学校生活の中でさまざまな体験をしている。学級で育てている生き物や校庭の虫、学校で見つけたものなど、誰かに見せてあげたい、教えてあげたいと思っているものがあるだろう。その中から知らせたいものを決め、題材としていく。その題材について、家の人がどんなものか分かるように書いて知らせるとい相手・目的意識をもって学習をスタートさせていく。教材文の構成としては、まず、知らせたいものをよく見てカードに絵と見つけたことを書いている。カードには、色・形・様子を視点として観察し、短い言葉でメモを書いている。次に、カードをもとに、文章を書いている。一つのことが一文になるように提示されており、カードの絵と言葉がどのように文章につながっていったかがよく分かるようになっている。最後に、書いた文章を家の人に読んでもらうように呼びかけている。相手に伝えたいことを書くために対象をよく見るようになり、よく見ることにより書こうとする意欲が高まっていく。このように、相手を決め、知らせたいものをよく観察してカードを作り、それをもとに文章に書いて伝えるという学習によって、書こうとする題材に必要な事柄を集める力を身に付けることができると考える。

(3) 本単元では、基礎・基本の定着を図るために、観察した事を文などに表すという領域の特性を生かした言語活動を行う。

- ・学んだことをもとに共通題材を観察し、視点に沿って「見つけたカード」を作り、カードのメモを文に書き表す。(「学ぶ」段階)
- ・知らせたいものをよく見て「見つけたカード」を作る。「見つけたカード」のメモの一項目を一文で短冊カードに書く。(「作る」段階)
- ・短冊カードの文をまとめて文章を書く。題材に必要な事柄を集める力を確かなものにするために、共通題材と自由題材の2回取材及び記述という活動を行う。(「作る」段階)
- ・文章を読み合い、よく見て書いているところを交流する。(「広げる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

相手意識 家の人など身近な人に

目的意識	学校にある知らせたいものを伝えるために
場面・状況意識	文章を書いて紹介する。
方法意識	知らせたいものをよく見て必要な事柄を集め「見つけたカード」を作り，それをもとに文章を書く。
評価意識	よく見て書いているところをペアやグループで交流したり，家の人に感想をもらったりして 自己評価・相互評価する。

ここで身に付けた「書こうとする題材に必要な事柄を集める力」は，国語科・他教科・他領域の学習に生かすことができる。例えば，国語科の「あつまれ，ふゆのことば」「いいこといっぱい，一年生」での記述前の取材活動や生活科の観察カードを書く活動で，書こうとする事柄を集めることにつながっていく。また，日常活動としては，スピーチや日記などの内容を取材することにも生かすことができる。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	身近なものに関心をもち，進んで観察して書こうとする。	・身近なものに関心をもち，進んで観察して書こうとしている。
書く能力	身近なものをよく観察して，題材に必要な事柄を集めることができる。 （書 イ） 文章を読み返すことができる。 （書 オ）	・身近なものをよく観察して，知らせたい事が相手に分かるように必要な事柄を集めて書いている。 ・知らせたい事を書くことができたか，句読点を打つことができたか，字の間違いはないか，書いた文章を声に出して読み返している。
言語についての 知識・理解・技能	句読点の打ち方を理解して，文章の中で使うことができる。 （言 ウ（イ））	・句読点の打ち方を理解して文章の中で正しく使っている。

4 学習指導計画及び評価規準

8時間（書 8）

過 程	学習内容と 主な学習活動	国語への 関心・意欲・態度	書く能力
見 通 す	学習のねらいを知り 学習の計画を立てること ・教材文を読み，学校の生き物や見つけたものを家の人に知らせる学習であることを理解する。 ・漢字や語句の学習を	自分の知らせたいものを見付け，書くことに関心をもっている。 発言・挙手	教材文から，誰に何を ・どのように知らせるのかを読み，自分の知らせたいものを見付けている。 発言・挙手・カード

		<p>する。 1 時</p>		
		<p>「見つけたカード」 の書き方を理解す る こと ・どのようなことを 観</p>	<p>知らせたいものに必 要な事柄について考 えようとしている。 発言・挙手</p>	<p>題材のどのようなこ と を観察し、メモする か 理解している。 発言・カー ド</p>
学 ぶ		<p>察し、メモするか を 学ぶ。 ・学んだことをもと に 「見つけたカード」 を 作る。(共通題材) 1時</p>		
		<p>メモを文にする書 き 方を理解すること ・メモの言葉を文に す る方法を学ぶ。 ・学んだことをもと に 前時に作ったカー ド のメモを文に書く。 2 時</p>	<p>カードのメモから文 や文章に書く方法を 考えようとしている。 発言・挙手</p>	<p>カードのメモから文 に 書く方法を理解し てい る。 発言・短冊カー ド</p>
作 る		<p>「見つけたカード」 を作り、文を書く こ と(共通題材) ・「見つけたカード」 に メモを書く。 ・カードをもとに文 を 書く。 本時 1 時</p>	<p>題材について、知ら せたい事を書こうと している。 態度・挙手</p>	<p>知らせたいものをよ く 観察して、家の人に 知 らせたい事柄を集め て 書いている。 見つけたカード</p>
		<p>短冊カードの文を も とに文章を書くこ</p>	<p>題材について、知ら せたいことを文章に 書こうとしている。</p>	<p>短冊カードの文をも と に、知らせたい事を</p>

	と ・短冊カードの文を 順 番を考えて文章に す る。 ・題名をつける。 2 時	態度・挙手	文 章に書いている。 文章
	こ と（自由題材） ・「見つけたカード」 に メモを書く。 ・カードをもとに文 を 書く。 3 時	題材について，知ら せたい事を書こうと している。 態度・挙手	知らせたいものをよ く 観察して，家の人に 知 らせたい事柄を集め て 書いている。 見つけたカード
	短冊カードをもと に 文章を書くこと ・短冊カードの文を 順 番を考えて文章に す る。 ・題名をつける。 ・文章を読み返し， 清 書する。 4 時	題材について，知ら せたいことを文章に 書こうとしている。 態度・挙手	短冊カードをもと に， 知らせたい事を文章 に 書いている。 文章
広	文章を読み合うこ と	友達の書いた文章を	友達の書いた文章を 読
げ る	・友達と文章を読み 合 い，感想を交流す る。 1 時	読み，よいところを 見付けようとしてい る。 態度・挙手	み，よいところを見 付 け，感想カードを書 い ている。 感想カー ド

5 本時の指導

(1) ねらい

「わたし」について知りたいことを尋ねたり，それに答えたりしようとする。

「わたし」について知りたいことを尋ねたり，尋ねられたことに答えたりすることができる。

(2) 展開

前時までの学習	<p>学習内容 ・クイズを作ったり，クイズを出す時の話し方や話の聞き方を考えたりすること</p> <p>言語活動 クイズの出し方や質問の仕方を話し合う。</p> <p>支援 ・モデル文やヒントカードを使い，クイズ文を書くことができるようにする。 ・学習CDを聞き，活動について具体的に理解できるようにする。</p>		
過程	学習内容・学習活動	形態	・支援 「主発問」 <評価方法>
課題をつかむ	1		<p>本時の学習課題を把握することしりたいことをたずねながら「わたしは、なんでしよう」ク</p>

イズをしよう。
(2分)

全 ・本時は、前時の学習を生かし、ペアでクイズを出し合うこと、また、友達の話をよく聞き、さらに詳しく知りたいことを尋ね合うことを知らせ、意欲付けをする。

「わたしは、なんでしょう」クイズを進んで行おうとしているか。

<態度・挙手>

<ものの特徴の視点>
・大きさ・長さ・重さ・様子(きらきらなど)・色・働き(好きなこと、使う)・ある場所・使うとき・仲間

ペアで話し合う

ペアで話し合う

2 全
学習の進め方を確かめること
(10分)(1)
モデル提示から
ペア

学習の手順とよい話し合いの仕方について考える。

全

ペア

ペア

(2) 「わたし」を知るために、

ペア・どのような順番で進めるのか、また、どのようなことを尋ねたり答えたりすればよいか、などよい話し合いの仕方を、6年生によるモデル提示(ビデオ録画)によって具体的に理解できるようにする。
「ビデオの話し合いの仕方でよかったところはどこですか。」

<クイズの進め方>

問題カードは見せずに、クイズを伝える。

質問してもらい、答える。

答えが分かったら、カードに書いてもらう。

「あたりです。」「ざんねんでした。」と問題カードを見せながら答えを言う。

・詳しく尋ねるときの活動の支援として、前時で確認した「ものの特徴の視点」を掲示しておく。

・この他にも知りたいことは尋ねてよいことを確認する。

「発表する人は、聞く人がよく分

する。 3 かるようにはっきりと話しましょう。聞く人は、聞き落とさずに最後まで聞いてから知りたいことを質問しましょう。」

一対一の対話形式で話し合うことと(2)7分) (1)1回目
 の対話形式で話し合いを行う。

・質問や応答が困難を予想される子には、側にいて言葉を引き出すようにする。
 ・声の明瞭さ、話し手のヒントに興味をもって聞く態度、詳しく聞く内容の工夫、などについて良い話し合いをしている組を紹介する。
 ・プリントで話し合いの仕方を振り返る場を設定し、良い点を意識できるようにする。
 A 詳しく知りたいことを自分で考えて尋ねたり、尋ねられたことに分かりやすく答えたりする。
 B 「わたし」について知りたいことを尋ねたり、尋ねられたことに答えたりしている。
 C への支援
 ・どのようなことを尋ねればよいか、表を参考にするように助言する。
 ・尋ねられたことを確認し、正確に答えられるように、教師がモデルを示しながら、後に続けて話すことができるようにする。
 ・問題を確認し、答えが導き出せるようにする。
 <様子・プリント>

・(2)の観点をもって2回目、3回目の活動を行うことができるよう助言をしたり、友達の良い点を想起させ自分の活動に生かしたりすることができるよう助言をする。
 ・教師からの価値付けも行い、成就感をもちつつ活動できるようにする。

(2)1回目の話し合い

から、良い点を紹介し、学び合う。

(3) 2 回目の話し合いを行う。

(4)

2 回目の話し合いを(2)の観点で自己評価・相互評価する。

(5)

3 回目の話し合いを行い、自己評価・相互評価をす

<p>ま と め る</p>	<p>5 学習を振り返ること (4分)</p> <p>6 次時の学習について見通しをもつこと (2分)</p>	<p>全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挙手による簡単な自己評価の他に，教師の価値付けを行い，学習の成就感と次時への学習の意欲へつなげるようにする。 ・ V T Rを使い，今日の学習が日常生活のどのような場面で役立つかを理解する。 ・ 次時は，別のペアで話し合うことを知らせ，意欲付けをする。 <p>「わたし」について詳しく知りたいことを尋ねたり，それに答えたりしようとしたか。</p> <p>「わたし」について詳しく知りたいことを尋ねたり，尋ねられたことに答えたりすることができたか。</p>
<p>次 時 の 学 習</p>	<p>学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のペアでクイズ大会をすること <p>言語活動</p> <p>前時の学習を生かし，別のペアでクイズを出し合ったり，尋ね合ったりする。</p> <p>支 援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き手が確認できるように，「ヒント表」(ものの特徴の視点)を掲示する。 ・ V T Rでグループでのクイズの仕方について具体的に理解できるようにする。 ・ よりよい発表を行っていたペアを紹介し，自分たちの話し合いに役立てることができるようにする。 	